



Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 46

R1.6.27

今月のキーワード

しもつけ未来学習の実践

国際交流イベント

今年度から始まった「しもつけ未来学習」ですが、テキストは御活用いただいているでしょうか。今回は、6月に訪問した小学校で行われていた実践について紹介したいと思います。今後も各学校、外国語活動担当・英語科主任の先生方を中心に、柔軟に活用していただけますよう、よろしくお願いします。

しもつけ未来学習（実践）

○活用例1 薬師寺小（4年生） 今城生子先生

下野市のお気に入りの場所を伝えて道案内しよう。

(Let's Try2 Unit8 This is my favorite place.)



下野市にある施設を黒板に掲示。他の単元や学年でも使うことができそうな素材は、ラミネートしておくとう便利です。



“Turn left. Turn right. Go straight.”などの表現を使い、先生が作成した地図を見ながらペアで道案内をしています。地図は未来学習のテキストに貼り、学びの足跡を残します。

○活用例2 吉田西小（6年生） 山口弘樹先生

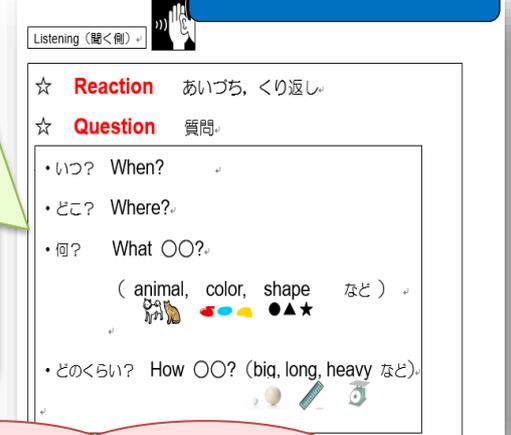
ALTの先生に、日本文化を紹介しよう。

(We Can!2 Unit2 Welcome to Japan.)



単元で身に付けさせたい力を話すこと（やりとり）とし、先生が作成したコミュニケーションカードを毎時間使って、英語でのやりとりが自然にできるよう意識付けしています。

コミュニケーションカード

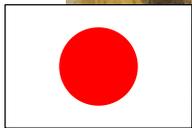


上記活用例のように、**児童生徒の実態や単元計画に合わせて**作り替えたり、内容を追加したりするなどして、しもつけ未来学習テキストを活用してください。

国際交流イベント（石橋小）

6月13日（木）、石橋小学校1年生の児童が市内のALTやJTEと国際交流活動を行い、英語を通して4つの国の遊びを体験しました。「英語を聞いてなんとなく分かった」という自信や「もっと〇〇が知りたいな」といった思いは、このような直接的な体験活動を通して生まれると思います。子どもにとってたくさんの学びがあったのではないのでしょうか。

日本ブース



ニュージーランドブース



カナダブース



ハワイブース



当日は、学習支援ボランティアの方々にもお手伝いいただきました。地域の方々とともに児童の成長を見守っていくことも大変有意義だと感じました。



英語の語順に気付く活動

We can! 2のUnit3では、英語の語順に気付いたり、語順を意識してクイズのヒントを考えたりする活動があります。児童に語順を気付かせるためには、**耳からだけでなく視覚による情報**も必要となります。聞き慣れた文を可視化するなどして、日本語との語順の違いに気付かせる場面を設定してはいかがでしょうか。

例：I like bananas. と先生が英語を言い、子どもたちは聞こえた単語順にカードを左から並べます。日本語で言う場合と、並べたカードを比較してみることで語順の違いに気付くことができます。



児童一人一人が持っている巻末カードを効果的に使しましょう。



文責 学校教育課 稲葉亜希恵